



No.207

2022年11月15日

発行者：治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

愛知県本部

461-0004 名古屋市東区葵1-22-26

愛知民主会館内

Tel: 090-9175-9598

Fax: 0564-79-0561

メール

: qdcso14344

@yahoo.co.jp

私たちの運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

国賠同盟全国女性交流集会3年ぶり開催

国賠同盟は11月6、7日の両日、静岡県熱海市で第31回全国女性交流集会を3年ぶりに開催し、約1000人が参加しました。愛知の参加者から感想文が寄せられましたので紹介します。

第31回全国女性交流集会は、11月6日と7日、熱海のニューウェルシティ湯河原で開催され、愛知から過去最多の6名で参加しました。

記念講演は「平和と暮ら

しを守り、ジェンダー平等の実現へー不屈のたたかいを受け継ぎ新しい時代を拓こう」と題して、日本共産党副委員長・参院議員の田村智子さんでした。

自らの生い立ちから始まり学生時代学園封鎖などの暴力支配への怒り、負け



てたまるかの心が根っこにある。様々な国会質問でも侵略戦争責任を認めない政府のあり方が妨げとなる。政権延命策としての反共攻撃、方向性は見えている。多くの女性の戦いも語られ、不屈のたたかいを受け継いでとー等々、親しみやすく

■県同盟の現勢

11月1日 778名

【入会者】 2名

名北支部 1名・稲沢支部 1名

【退会者】 1名

名南支部 1名

深いお話が生で聞けました。講演のDVDが作成されるそう
で楽しみです。

全体会では犠牲者の発言、語り部活動、沖繩からの報告等もありました。夕食交流会では参加者が一堂に会してアコーディオンに合わせ
て楽しく歌いました。初参加の方がかなり多く一言
自己紹介も新鮮でした。

2日目は五つの分科会に分かれ学びました。「治安維持法はなぜ悪法なのか」
「伊藤千代子上映運動とジェンダー平等」「女性の役割と楽しい女性部活動」などです。

「わが青春つきるとも」は10月末で全国350会場6万人が鑑賞し、若い方々にも感動を呼び、上映運動を取り組む中で女性のがんばり、新しい力も生まれたと分科会で語られました。

苦勞しながらも元気に活動している皆さんの発言に励まされ、同盟の存在意義を再確認しているところも

やっぱり同盟女性部の活動は必要と改めて感じました。まず顔を合わせ話し合うことが大切な一歩と思いません。

治安維持法と現代2022秋季号に大石女性部長の「同盟女性部はなぜ必要か」が掲載されています。是非学びあいましょう。

名南支部 猪飼ひろ子

2日の分科会 治安維持法分科会は大変勉強になりました。現在の政治がなぜこんなにゆがんでいるか。

歴史的に「侵略戦争だったことを認めない・治安維持法は合法だった」とする潮流が今の日本会議に通じる勢力であり、統一協会の

勢力とも結びついて現在の自公政治を形作っていることを知りました。

この根っこは根深いものがあり、なかなか運動が進まない原因にもなっていることがわかりました。

愛知県は女性部はあっても機能していません。どうしたら良いか、話しあうことから始めなければ、と思います。

知多支部 山本佳代子

※愛知県の参加者は田中節子(名北)・栗木美代子(名北)・平井利恵(二宮)・山本佳代子(知多)・若山霞(西三)・猪飼ひろ子(名南)の皆さんでした。

十一月三日は、宝江墓地で恒例の墓前祭を行い、四十名余の参加がありました。十一月十二日は、一宮市木曾川文化会館で没後九十周年記念の集いを開きました。

地元出身で岩田とも縁のある、首都大学東京の宮川彰名誉教授の講演の後、勇壮な和太鼓の演奏、朗読劇、合唱などが、地元の有志によって披露されました。

朗読劇では、木曾川河畔で船頭の子として生まれた岩田が通った小学校や、教師として勤務した木曾川小学校の映像などを写しながら、苦学して京都帝国大学へ進学した姿、大学で河上肇に、唯物弁証法の研究では、岩田の右にでる者はないと言われるほどになっていたこと、しかし治安維持法による逮捕となった学

**岩田義道
没後九十周年記念の集い**



連 事 件 以

後、岩田は不況や貧困に苦しむ人々の暮らしの改善につとめ、いち早く中国侵略戦争に反対したこと、四度の逮捕で厳しい拷問を受け、東京で虐殺され、最後のデスマスクに至るまでの行程を、十八歳から八十代の地元有志十三名が、朗読と映像で語りつな

ぎました。 持ちでいっばい。有難うございました。 これからも広く多くの方々 の理解と協力を得て、岩田 のことを知ってもらうため、 活動を続けて行きたいと思っ ています。

一宮支部 平井利恵

和太鼓では六歳と十二歳の子ども達も加わりました。合唱では岩田の人生を自由と平和を求め続けたと歌いあげました。

今回の集いは多くの地元の人々の協力による集会となりました。一六〇名余の参加をみました。地元以外からも多くの方が参加くださり関係者一同、感謝の気

「わが青春つきるとも」
を鑑賞して

私は三歳の時に戦争が始まり現在、八十四歳になりました。

今年の五月に半田市で伊藤千代子の映画会をやることになり、私も実行委員の一人として五百名の動員目標を立て、各市町で頑張ることになりました。私の住んでいる美浜町は知多半島に位置する二万人そこそこの小さな田舎町です。美浜町の目標は三十名です。文化といえるものはほとんどなく、老人会が催すカラオケくらい。映画を見に行く習慣など全くありません。私の友達といえれば八十年代以上の人ばかりで、足腰が弱

くて病院通いをしている人たちに、映画のお誘いをしても行ってくれる筈もなく、途方にくれました。でも、

「私たちの世代だからこそ、戦争の悲しみや苦しみを一番知っているはずだ」と思い、一軒一軒訪ねてこの人たちから話を聞こうと心に決め、足を棒にして歩きまわした。訪問していくうちに戦時中のことや戦後の食糧難のことなどいろいろと話してくるようになりました。

そんな中で映画の話になり、治安維持法という法律によって、戦争に反対した人や共産主義者、社会主義者、文化人、労働者、農民と、多くの人が特高警察の手によって検挙され、拷問の末虐殺されたことを、わかりやすく話して、そんな暗黒の時代に拷問にも負け

ず自分の信念を貫いた、伊藤千代子という若い女性の真実の物語であることを話しました。

八十八歳の人は、私の話を聞いて泣き出してしまいました。自分は足が悪いので行けないけど戦争を知らない嫁や命に映画を見せてやりたいので、三枚くささいと言われました。これに勇気をもらい、今日は何人

に会ってどういう話をしたか、反応はどうだったか、毎日毎日、カレンダーの裏に書き込み、必死に頑張りました。頑張った甲斐がありました。ついに一人で目標の三



十枚以上を得ることができました。他の人の働きもあり、美浜町で五十枚を達成できました。

映画会の当日、最初に訪問した人の姪だという人が、同じ職場の人を誘って来てくれてとても嬉しかったです。あの人は年だからと決まらず、意識を変えることによつて大きな力になることを学びました。

参院選も目前に迫っていたので、「赤旗日曜版」を持ってお札を言いながら選挙のお願いと購読のすすめに行き、快く承知していただきました。

映画つながりで地元の人と親しくなれたことは、私にとつて大事な財産です。多くの人に映画を見ていただきたいです。

知多支部 水野さん